

おばなざわ 市議会だより

110号

令和3年8月1日発行



6月定例会	
令和3年度補正予算	2
4月臨時会・請願	4
追跡レポート・大好き尾花沢	5
一般質問	6
私のひとこと	16

祝 上の畑焼復興40周年

私のひとこと

陶芸の夢追いかけて

上の畑焼陶芸センター所属
陶芸家
松浦 加奈 さんに
インタビュー



①陶芸家になった理由は
小さい頃から絵や書道、音楽が好きでした。古いものや焼物がいつも身の回りにあり、興味というよりはある事が自然だったような気がします。ただ自分で造るといことは考えていませんでした。大学時代、偶然アルバイトで陶芸に関わり、改めて外から陶芸に関わり、両親がしている仕事の凄さを痛感しました。その時自分で造ってみたいという欲が出てきました。有田窯業大学校に通学し、ものを

インタビュー

造る楽しさを知り陶芸でがんばってみよう。父や母のサポートをしていこうと決めました。

②上の畑焼復興40年に思うこと
父や、尾花沢の人々の思いが集まって再興した上の畑焼です。この40年の歴史を今回の展示会でご覧いただけると思います。ぜひお越しください。お待ちしております。

③作品に対する思い
江戸時代に始まった上の畑焼の風合い、色、絵付を再現しつつ、新たな試みをしながら変化していくことも伝統工芸である上の畑焼において大切なことだと思えます。父や母、美山窯さんの作風の違いもまた魅力の一つ。古き良き上の畑焼の魅力に磨きをかけ、私らしさを忘れずこれからも作陶していきたいです。

そして、1日も早くコロナ禍が終息して、皆さんに思い切り陶芸教室を楽しんでもらいたいです。

当市を代表する工芸品上の畑焼は江戸後期に生まれ、十数年間で消えた幻の磁器でしたが、陶芸家伊藤瓢堂氏が復元に成功しました。



玉野小学校での陶芸教室風景



表彰

全国市議会議長会表彰
規定に基づき表彰されました。

◎議員10年表彰
◎評議員感謝状
大類 好彦 議長



「皆さんアンケートおまちしていま〜す」

発行責任者

議長 大類 好彦
市議会だより編集委員
委員長 鈴木 清
副委員長 和田 哲
委員 塩原未知子
委員 伊藤 浩
委員 菅野 喜昭
委員 安井 一義
委員 鈴木由美子

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

コロナ禍緊急対策と 克服に向け **全力**

6月
定例会
2021



学校施設感染防止 対策事業

(感染症対策・学習保障等に係る支援事業)

1,340万円



さらに大画面になります。



手を近づけると
水が出ます。

※イメージです

一般会計補正 **9,270万円** (総額 110億 7,007万円)

県内初

パンプトラック



一般会計補正予算の主なもの

- ・尾花沢市中小企業者等戦略的人材育成支援事業 **300万円**
- ・社会教育施設感染症対策事業 **700万円**
- ・低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 **1,143万円**
- ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援事業 **180万円**

定例会のあらまし

6月定例会は6月14日から22日までの9日間の会期で開かれました。一般質問は9人の議員が行い、請願一件、市路線バス設置及び管理に関する条例の改正など6議案と1議案を審議し、全会一致で可決しました。

コロナ
減収

ひとり親家庭 困窮が深刻化

支援
急務

ひとり親世帯生活支援特別給付金

①児童扶養手当 (1人5万円×150名)	750万円
②家計急変家族 (1人5万円×80名)	400万円
合計	1,150万円

新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中、職場の
時短営業などによる減収で、ひとり親家庭の困窮が深刻化
しています。国の国庫補助金10/10で「ひとり親世帯生
活支援特別給付金」の給付が迅速に届くよう、4月臨時会
で議決されました。

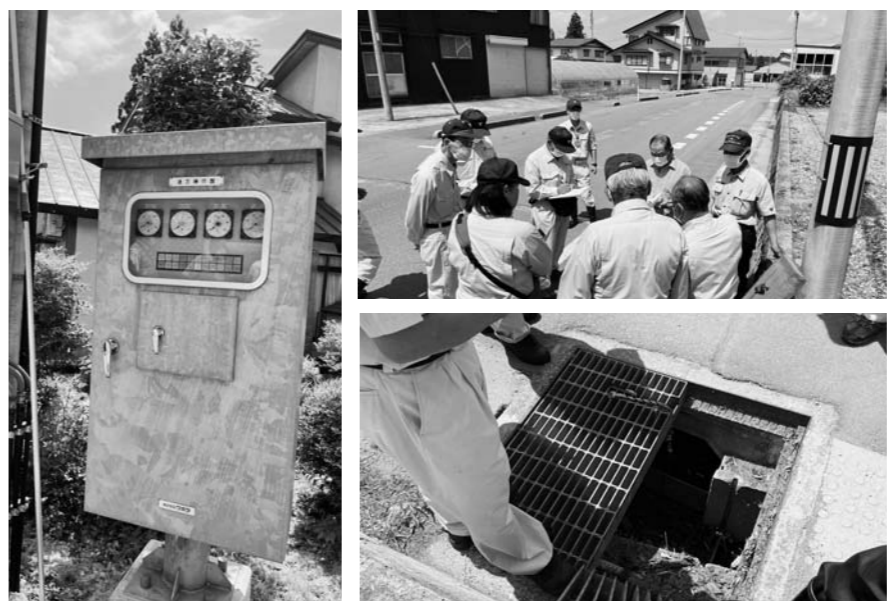


請
願

令和3年請願第3号

(採択)

寺内地区流雪溝管理経費の負担軽減に関する請願
流雪溝用水に伴う電気料金等の全額公費負担など
請願者
寺内第二区長 落合博信
寺内第一区長 寛 益夫
寺内第二区長 溝越久雄



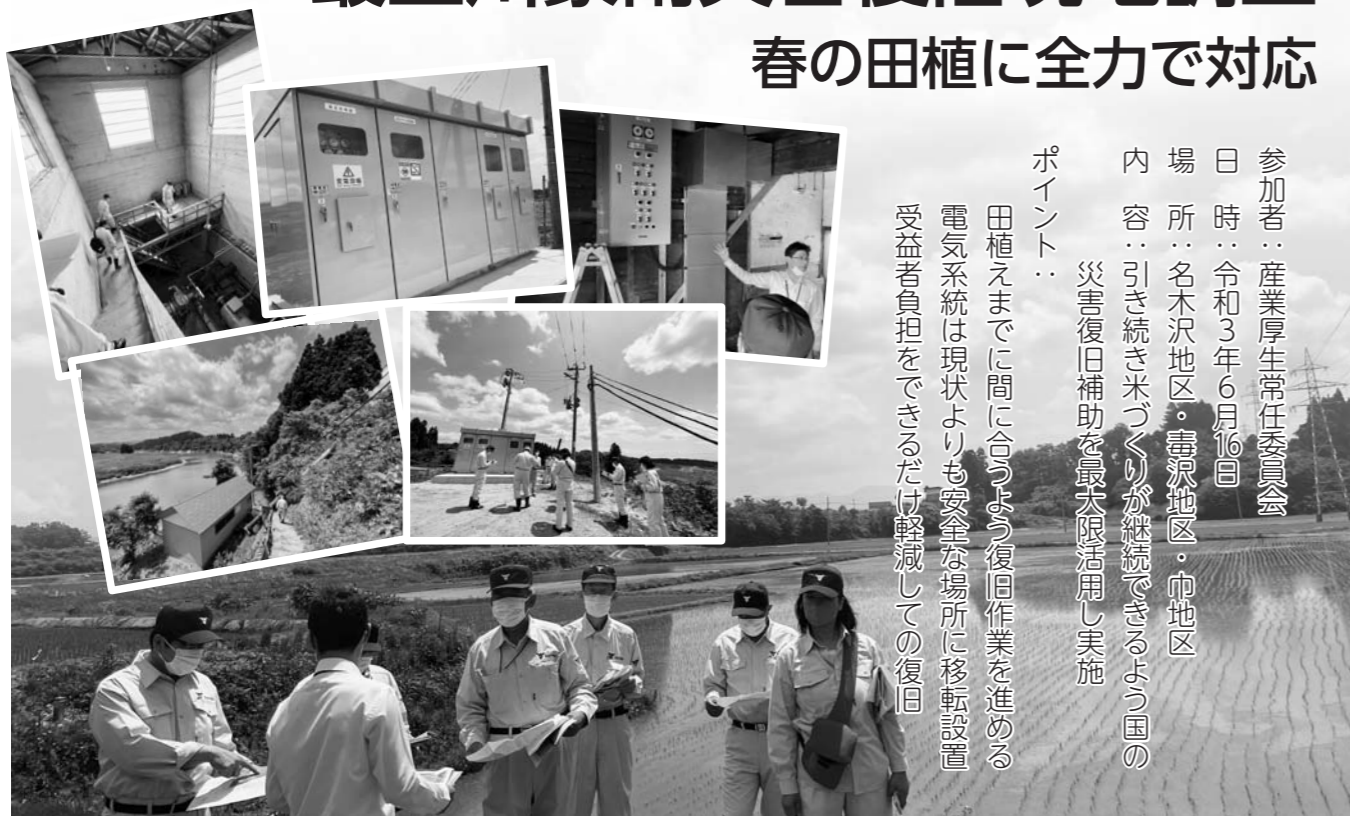
現地確認のようす(産業厚生常任委員会)

令和2年7月28日

田植えに間に合っ
ていって～

最上川豪雨災害復旧現地調査 春の田植に全力で対応

追跡
レポート



参加者：産業厚生常任委員会
日時：令和3年6月16日
場所：名木沢地区・毒沢地区・巾地区
内容：引き続き米づくりが継続できるように国の
災害復旧補助を最大限活用し実施
ポイント：
田植えまでに間に合うよう復旧作業を進める
電気系統は現状よりも安全な場所に移転設置
受益者負担をできるだけ軽減しての復旧

投稿

大好き尾花沢☆新コーナーはじめます！

この度、令和3年4月、伊藤瓢堂氏の作品で前年度解体した銀嶺荘の壁画4体、修復作業の依頼である。上の畑焼復興に取り組み、上の畑焼再現を成す、風水三多紋の文化、絵付壁画、私の分は其の縁で、話の中にこの壁画には四君子で守る彫物が必要とされ、咄嗟に思い「徳、礼、文」蘭、梅、菊、竹4種の植物に譬えた。50年前の仏壇指物店の師の意味である。遠く忘れかけた諺で脳味噌の奥深く鍛えしまい込んでいた。仏壇の絵巻、着物の帯等、高級意識に使

わたる。四君子の意味有難かった。
材はシオジの柁を選び四君子の間は竹の様に真つすぐの柁目で造る。陶壁画も番号通り間違いない組合せ、目地で固めた。伊藤瓢堂氏に見てもらった。流石に、褒めていただいた。
残雪の中、春待つ植物の様に蘇った壁画である。15才の歳より、のみと鉈を持ち、物造り一心に50年、頼む人の理想が現実となる瞬間である。
伝統工芸、工法、文化が薄らいで行く時代、何としても次の代への道標となり、もの作りに挑戦していきたい。天保時代の上の畑焼、素晴らしい藍色の絵付紋様、技の粋を求めた伊藤瓢堂氏の若き作品に出会えた喜びと修復作業に参加することが出来た事、関係各位の皆様々に感謝申し上げます。
2か月に及ぶ作料の思いをありのままです。(原文のまま)

上の畑焼陶壁画修復に参加して
宮沢地区 山口 忠博氏より

コンパクトな街づくりを踏まえた場所か？

市長…各候補地のメリット・デメリットを十分精査する



すぎき ゆみこ
鈴木由美子 議員

問 「学園構想」からは新たな施設の建設だけでなく新しい学びや、学校を核とした今後の市全体の発展を想像する。そのための学園構想の教育プランとは。地域の特色を活かす、現実に則した具体的な教育プランはどのようなものか。

答 企業や団体、地域、学校、行政が連携した交流や学びを通して、未来の本市を支え、地域づくりに貢献する子どもたちの育成を大切にしたい。

問 本市の維持・発展のため、誇れる農業や商工業のものづくりを探究型学習とし、「教育課程特例校申請」をする考えはどうか。

答 本市にあった組織のあり方について企業・学校現場の実態を踏まえて、市関係課・関係団体と共に検討していく必要がある。

問 学園構想と本市の産業発展及び都市計画

答 この制度活用にあたっては、実施状況の評価や把握・検証の実効性の担保のために、様々な公表が求められ、子どもや先生方の「ゆとり」の面が心配される。現在でも技術・家庭科や総合的な学習の時間、生活科などで、「ものづくり」につながる学習は可能となっている。

問 コミュニティスクール（学校運営協議会制度）の取り組みはどうか。

答 統廃後の旧校舎の利活用や指定避難所の計画はどうか。

問 統廃後の旧校舎の利活用や指定避難所の計画はどうか。

答 地域の方々と十分に協議・検討を重ねながら施設の利活用や、避難所の再配置を進めていく。老朽化したパレットスクエアを今後解体した際の意向を受けたと聞く。ひろく市民が利用できるプールが無くなってしまいが、新たな学校プールの要望のみならず、市民プールの運営とする考えはどうか。

問 財政負担の問題もあるが、本市の宿泊先が限られており、やむを得ず他

答 財政負担の問題もあるので、どのような方法が望ましいか研究する。市内企業の取引に係る人的交流が盛んであるが、本市の宿泊先が限られており、やむを得ず他



パレットスクエア

問 市の施設を利用せざるを得ない。パレットスクエア跡地にビジネスホテルを誘致する考えはどうか。

答 市内のビジネスホテルや旅館の規模拡大などの意向も踏まえ、様々な観点から検討していく。

施設のあり方とは？
コンパクトなまちとは？



つぶやき…

6月定例会 一般質問

どうする！ どうなる？ 尾花沢

9人の議員はこう質^ただ^たした



一般質問 1 日目



一般質問 2 日目

録画が見れます

○囲み数字が掲載

鈴木由美子	① 学園構想と本市の産業発展及び都市計画	奥山格	① 笠松地区の流雪溝整備等 ② 桮町四丁目地区の雨水側溝の改修 ③ 北町の民間の宅地造成地の生活環境 ④ 北町地区(午房野線)の雨水側溝の清掃 ⑤ 養泉寺下の道路端のけやきの大木
青野隆一	1 人口減少対策 2 買い物支援制度の拡充 ③ 小・中学校の在り方に関する基本方針(案)	塩原未知子	① ゼロカーボンシティ宣言「雪と水」を活かすまちづくりを ② 高速道路開通後の本町まちづくりビジョン ③ 水源と里山を守るスマート林業とスマート農業の推進 ④ 「花」でもてなす尾花沢、本町と各地区の交流
星川薫	① 尾花沢市ゼロカーボンシティ宣言 ② スポーツ推進計画の策定 ③ パレットスクエアの今後	鈴木清	1 「スマート自治体」と「行政のデジタル化」 ② 「小・中学校統廃合」の課題 ③ 国保税の未就学児童均等割を五割減額、更に拡充を ④ コロナ禍の「生理の貧困」、学校トイレに生理用品を
小関英子	① 「生理の貧困」支援対策 ② 不育症治療へ支援対策 ③ 有害鳥獣被害対策の拡充 ④ 一人暮らしを支える仕組みづくり 5 障がい者への支援拡充	菅野修一	① 選ばれる尾花沢へ 2 請願採択案件 洪水防止のため、丹生川への放水路敷設 ③ 古城山を自然観察園に
伊藤浩	① 過去5年以内に採択された請願案件の進捗状況 ② 農業を取り巻く諸問題		

パレットスクエアの存続を

市長…継続した利用が図られるよう事業者との話し合いを進めていく



ほしかわ かのる 議員
星川 薫

尾花沢市ゼロカーボンシティ宣言

問 尾花沢市の温室効果ガス排出量と森林吸収量の相関関係について伺う。

答 温室効果ガス排出量と森林吸収量の相関関係については、市町村単位での推計はされていない。

問 ゼロカーボンシティ宣言をする前に期限が切れている環境基本計画や地域新エネルギービジョンを策定することが先ではないか。

答 まずは宣言すること、で、強い意思表示を示し、そして具体的に環境基本計画と新エネルギー推進計画を一体的に策定したい。

スポーツ推進計画の策定

問 第7次総合振興計画には、スポーツ拠点機能の維持とあるが、各施設の整備計画や改修計画を盛り込んでどうか。

答 各施設の老朽化の状況や市民ニーズを把握し、施設の個別計画を作

パレットスクエアの今後

問 3月19日全員協議会の中で、所有する事業者から令和4年4月以降に解体したいとの説明を受けて、早3か月になろうとしているが、この3か月間の中でどのように話が進んでいるのか、当局はどういう方向性で進めていくのか伺う。

答 この間、市としても様々な視点から検討を重ね、契約に関する法的確認などが、関係機関と協議してきたが、同時に継続した利用が図れるよう事業者へ再度要望を出させていた。今後は、市の公共的役割の一部を担っている施設でもあるので、できるだけ継続した利用が図られるよう事業者との話し合いを進めていく。

園児から大人まで幅広く民間のプールを

問 園児から大人まで幅広く民間のプールを利用しており、市民プールがない以上大変困惑している。どう対処するか伺う。

答 学校のあり方基本方針(案)の中では夏季休業中の市民プールを提案が出されているが、市民のニーズを受け今後建設を検討する段階において、調査・研究していく。

パフォーマンスより実行を!



つぶやき…

小規模校の良さも示すべき

教育長…メリット・デメリットの比較は考えていない



あおの りゅういち 議員
青野 隆一

問 「新尾花沢小1校に統合、福原中は尾花沢中に」の山形新聞を読んだ市民の多くは、統合は決定と受け止めている。基本方針は(案)であり、統合については、各地区の了承を得ながら進めることを説明すべきではないか。

答 各地区での検討を踏まえて最終的に決定することを説明していく。

問 統合した場合の廃校施設の有効活用、児童生徒の通学方法、尾花沢中学校が新庄盆地断層帯上にあるリスクについても明示すべきではないか。

答 施設の有効活用については、統合の方向性が決まれば、地域の活性化に資する施設として検討していく。スクールバスに

ついては、最長でも40分以内で通学ができるよう、統合の方向性が決まった段階で計画したい。尾花沢中学校の校舎は活断層上にあるが、耐震性については問題ないと考えている。

問 統合校の用地取得費、学校建設費、体育館、グラウンド造成費はいくらかかるのか。また、環境衛生事業組合の焼却炉などの改築費も、令和9年頃におおよそ40億円が見込まれる。財政的に大丈夫なのか。

答 現時点で建設費用を積算できる段階になっていない。統合への方針が決まれば、基本計画を策定する際に事業費を示したい。今後、学校以外の大規模事業も控えており、長期的な財政シミュレーションを準備したい。

問 小学校は「複式学級」だけの課題を取り上げ、中学校は「すべての教科子どもたちの疑問や意欲に十分にこたえられない」など、小規模校に通わせる地域住民の不安をかき立てて、学校統廃合に同意を求めているのではないかと小規模校のメリットや大規模校のデメリットについても明記すべきではないか。

答 小規模と大規模のメリットやデメリットについて比較するような明記は考えていない。

問 今回の基本方針(案)に対し、心配な点や意見を聞くために、全保護者に対してアンケートを実施してどうか。

答 基本方針(案)は、関係者の議論の賜物と

統合の建設場所も通学方法も予算も決まってない。アンケートもしない。



つぶやき…

令和9年1校統合による教職員数などの増減

学校名	児童数	学級	教員数	その他	合計
福原小	74	6	10	8	18
宮沢小	34	4	7	5	12
玉野小	56	5	9	8	17
常盤小	25	3	5	5	10
尾花沢小	265	11	20	19	39
合計	454	29	51	45	96
統合小	454	17	25	19	44
増減	0	△12	△26	△26	△52

して尊重すべきもので、改めてアンケートをすることは考えていない。

請願は市民の究極の願いと受け止めよ!!

市長…提出された皆さんの立場で誠実に進めたい



いとう ひろし 議員
伊藤 浩

問 この5年間で、17件の請願が採択されている。その後の進捗はどうなっているか。

答 17件中9件は国や県議会から意見書が提出されている。市への請願8件中、1件が完了、1件が事業進行中、残りの6件については諸々の課題があり、実現には至っていない。

問 請願が、長い期間実現されない背景として、どのような事があるのか。

答 例えば市道の改良に関する内容であれば、筆界未定地や未相続などの用地の課題。そして、流雪溝整備の請願については、用水をどう確保するかなどの課題があり、事業を進め

問 農業を取り巻く諸問題

問 本年度、尾花沢市に水稲作付面積2千319haに対して、生産実施計画面積はどうか集計されているか。

答 一部の地区で行われている行政懇話会の際に、説明を行っている。このような機会が無い地区に対しては、何らかの機会を設けるなど、地域との連携を図りながら、請願の実現に向けて取り組んでいきたい。

問 転作面積全体の中で自己保全管理となっている圃場はどのくらいあるのか。

答 転作水田面積は、全体で1千928haとなっており、その中で約17%に当たる333haが自己保全管理である。

問 自己保全管理の期間が3年以上経過すると、各種の交付金が支給対象外となる。現状でも耕作放棄地が増えているが、これが大きな要因となる。市独自の対策が必要ではないか。

答 示された生産の目安に基づき、2月に集荷業者経由で各農家に通知を行った。5月末現在での集計では、目安に対して56ha少ない2千319haとなっている。

問 自己保全管理の水田が継続すると、荒廃農地につながる恐れがあると危惧している。人・農地プランの活用などの事業の周知を図り、農家所得の維持向上に繋げたい。



自己保全管理の水田

農地は個人が所有。しかし、尾花沢市の財産と考えるべき



つぶやき…

「生理の貧困」の支援をどう行っていくのか

市長…親切丁寧な対応を引き続き行っていく



こせき えいこ 議員
小関 英子

問 コロナ禍で顕在化した生理の貧困とは、生活困窮で生理用品の入手困難だけでなく、ネグレクトにより親などから生理用品を買ってもらえない子どもがいるとの指摘もある。どう支援を行っていくか。

答 生理用品の無償提供は有効な支援策だが経済的な支援に加え、子どもたちが生理を含め自身の健康について話しやすい家庭環境になるように、相談窓口で親切丁寧に対応を行っていく。

問 防災備蓄品に生理用品を加える予定はあるか。

答 今後、食料・飲料水などに加え、生理用品をはじめ生活必需品の備蓄にも取り組んでいく。

問 学校のトイレに生理用品を常備する予定はあるか。

答 トイレへの常備は選択肢のひとつで、各学校で状況は異なる。個別の対応を大切にしていく。

問 労働基準法第68条の「生理日の就業が著しく困難な女性に対する措置」制度を市内企業にどう周知を行うか。

答 働く女性が適切に生理休暇を取得できるように、運用状況を把握し、労働基準監督署など関係機関と連携し、制度の周知を図っていく。

問 不育症とは妊娠しても2回以上の流産や死産を繰り返す病気で、不

問 妊娠とは異なり、不育症について市報やホームページで周知されているか。

答 不育症の情報提供は6月から市のホームページに不育症の定義や県内の相談窓口の情報提供を実施している。

問 高額な不育症治療費の負担軽減のために支援の予定はあるか。

答 検査や治療の助成を前向きに検討する。

問 有害鳥獣被害対策

問 昨年度導入したドローンはどのように活用されているか。

答 ドローン1台を導入し、職員5名が操作研修を受講し対策にあたり、主に二ホンザル捕獲用の大型捕獲オリ設置と



支援が必要な方に届いてこそ「支援」



つぶやき…

ゼロカーボン「雪と水」を活かすまちづくりを

市長…環境基本計画の改定に着手、4つの柱を立て進めていく



しおばらみちこ 塩原未知子 議員

問 持続可能な未来ビジョンは

答 徳良湖、新鶴子ダム、ため池や水路、水道と、今後老朽化する公共施設や河川橋梁の架け替えと合わせ、再生可能エネルギーを活かしたまちづくりの大胆な発想転換が必要。冬の除雪費を削減し、森林を活かし「雪」と「水」に重点をおくべきではないか。

答 再エネを活用したゼロエネルギー住宅による無雪化住宅と無雪化ゾーンの整備など関係機関と連携しながら研究していく。

問 市内の水力発電施設の年間の発電量は、

答 鶴子発電所は年間1万9メガワット(約

3千800世帯分)。北村山北部発電所は年間1千150メガワット(400世帯分)。民間事業者で建設中の中沢川水力発電所は、年間1千53メガワット(400世帯分)を予定。

問 高速開通後の本町まちづくりは

答 学園構想、選定決定時期はいつごろか。

問 また本町の電線地中化はどう進めていくのか。

答 尾小は令和9年度の開校を目指し、令和4年度を目途に場所を選定。電線地中化は事業費など課題が山積みしているが、地域住民の意向を踏まえ、関係機関と調整し事業化できるように県に対して要望していく。

問 スマート林業&農業の推進

答 農地集積率は71.3%と進んだが、点在する農地が増え、経営効率の低下が懸念される。耕作者や農作物単位の集積、圃場の大型区画化、またGPSを活用したICT化など、スマート農業機械化を効率よく活用するため農地集約化について「人農地プラン」の話し合いを進めたい。

問 林道や農道を機械化にあわせ整備し、担い手不足解決に大胆な発想で推進すべきではないか。

答 豪雪で林道の通行障害が多発。災害時のスムーズな対応ができるよう指導し、支援する。

問 「花」でもてなす尾花沢

答 県花「紅花」は昨年日本農業遺産に認定された。当市は花笠音頭、花笠踊り発祥の地。まつりのあり方やこの街に住んでよかったと思える市内交流促進構想が必要。また、徳良湖の花畑についてはどう進めていくのか。

答 コロナ終息後披露できる場と機会、持続可能な継承方法を計画する。徳良湖の花畑は南西部の緑地に計画しており、有識者と関係団体も交え長期的な維持管理なども話し合い、市民に愛される花畑を作り上げたい。



豊かさの心配が無いゼロエネルギー住宅と農林業振興



つぶやき…

養泉寺下のけやきの大木保全と景観整備を進めよ

市長…危険性は無い。歴史文化ゾーンとして街並みの保全を図りたい



おくやまきわむ 奥山 格 議員

問 養泉寺下の道路端のけやきの大木が道路の上に大きく枝を伸ばして、折れて落下すれば、下を通る自動車やトラクターなどや、歩行者に被害を与えかねない。市で支援して切る必要があるのではないか。また伐採後も跡地を借りるなどして使用して養泉寺の景観の保全や整備をしてはどうか。

答 現場を確認したところ、危険性は確認されなかった。現在策定中の都市計画マスタープランでは芭蕉清風歴史資料館から養泉寺一帯を歴史文化ゾーンと位置づけ、街並みの整備保存を図っていく計画だ。

問 禁町四丁目地区の雨水側溝の整備

答 ふちが欠けたり、土がたまり草が生えたり、また冬場など車が脱輪したりするので、コンクリート蓋をかけることはできないか。

答 交通量が多いために道路の西側の住民が投雪するときには危険である。西側の流雪溝の整備は、平成28年に請願が議会で採択されたが、その後どうなっているのか。

答 本路線は尾花沢小学校の通学路や保育園も隣接する市道であり、交通量も多く、必要性は高い。大きな課題が水の確保であり、今後は本町地区のさらなる用水の確保に取り組み、着手できるように努めたい。

問 北町地区の民間の宅地造成地の生活環境

答 今後戸数が増加し、住民も増えると、市としても周辺環境の整備をしていく必要があるのではないか。上下水道の接続状況や、除雪対策、雪押し場の確保はどうか。流雪溝の整備計画はないか。公園の設置や、国道37号バイパス交差点に信号機の設置も必要ではないか。

答 1区画ごとに給水管・公共汚水樹を設

問 北町地区の雨水側溝の清掃

答 コンクリート蓋がかり、中に土がたまり浅くなっているため、清掃をすべきではないか。

答 大雨時に雨水排水に支障をきたす恐れがあるので、清掃を実施したい。

問 置いている。宅地造成区域内の道路は市が寄付を受け市で除雪し、雪押し場は、緑地や残地を活用する予定である。流雪溝については、現在計画はない。公園は北町児童公園がある。信号機の設置は、重要事業として要望したい。

事故などは起きないようにすべきである



つぶやき…

県道沿い間口除雪の完璧化を図りたい

市長…令和4年度の重要事項として県に要望してきた



問 市民アンケートでは、今後のまちづくりにおいて重要である最も高い回答が雪対策である。日本三雪の地、尾花沢こそ「除排雪日本一のまちづくり」を構築し、全国へ発信してはどうか。

選ばれる尾花沢へ

答 第7次総合振興計画では、雪対策は施策の1柱。100年持続可能な発展に向け変革し続けるデジタル技術を活用しながら、暮らしやすく住み続けられるまちをめざすとし、道路除雪や流雪溝など9項目を掲げ、事業を実施していく。除排雪費の当初予算を6億円規模にしてはどうか。

問 当初予算の約7割を地方交付税や国県支出金など依存財源によって編成している本市にとって、財政運営上前年度当初予算並みの除排雪経費を計上するのが精一杯というのが現状である。

答 市民アンケートの2番目に要望のある「働く場の確保」について、



菅野 修一 議員

豪雪地尾花沢は雪対策を万全に実施し、雪で嘆かない街づくりが大切だ。



つぶやき…

問 福原工業団地内の企業誘致の進捗状況はいかがか。

答 現在空いているが、2区画について2つの企業から打診を受けている。正式な企業進出に繋がるよう紹介PRなど誘致活動を展開している。

問 街中にサービス付き高齢者住宅導入についてはどう取り組まれているのか。

答 非常に重要かつ急務であると捉え、民間事業者と連携した自治体の事例の調査研究を開始している。医療や介護体制の課題に対応策を検討しながら、移住先として本市を選んでもらえるよう様々な施策を展開していきたい。

問 寒河江市は高校入学年齢到達者へ10万円

小中連携型とは小中一貫校か？

教育長…教育課程の連携であり、一貫校ではない

小中統廃合の課題

問 基本方針案の小中連携型とは小中一貫校の連携型なのか。また、併設する学校のイメージ（モデル）はあるか。中学校の統合の後、小学校に併設する時期はいつ頃になるか。

答 現時点で具体的なモデル校はない。文部科学省が示している小中一貫校での連携型ではない。中学校は統合後も当面、尾花沢中学校校舎を使用する考え。新たな小学校が整備された後も、中学校とは別々の場所になるが、教育課程の要所で連携した取り組みを行う。この形態を小中連携型として示した。併設する時期は市の財政状況を踏まえ、なるべく早い時期



鈴木 清 議員

小中一貫校でないと言明された。「子ども第一に」を今後も議論していきたい。



つぶやき…

に建設したいが、学校形態については、その時期に合わせて、あらかじめ判断したい。

問 高すぎる国保税の減額と、少子化対策に逆行する均等割りの廃止を求めてきたが、国は来年4月より、未就学児童の国保税の均等割額の5割軽減を決定した。（国1/2・県1/4・市町村1/4負担）本市の子ども一人当たりの軽減額はどの程度の額になるか。

答 また、子育て日本一を目指す本市は、対象年齢を拡大すべきと考えるがどうか。本市の子ども（未就学児）の一人当たりの減額は1万7千700円となる。また国保税には低所得

者世帯に対する軽減制度があり、所得額に応じて、均等割と平等割が、7割・5割・2割の割合で表1のように減額となる。

(表1)国保税の未就学児均等割り5割減額

減額基準	軽減額	均等割り負担額
7割軽減世帯	30,090円	5,310円
5割軽減世帯	26,550円	8,850円
2割軽減世帯	21,240円	14,160円

対象年齢の拡大について国は、都道府県の共同運営化と一般会計からの法定外繰入の解消を目指していることから、市独自の軽減策

は、議論の流れや他市町村の動向も見極めながら慎重に検討する必要がある。重要事業要望として国へ働きかけていきたい。

問 「生理の貧困」学校トイレに生理用品を

答 コロナ禍、女性の失業と自殺が増え、経済的理由で生理用品を思うように購入できない家庭が増えている。児童生徒が安心して通えるように、保健室対応だけでなく、学校の女子トイレに返却不要の生理用品を設置してはどうか。

問 トイレに常備すること一つの選択肢だが、小中学校の保健室に常備し、担任や養護教諭に相談できる体制も大切にしたと考えている。